

令和4年度 学校評価について

- 1 対象 本校生徒・保護者, 教職員
- 2 調査法 質問紙法(アンケート)
- 3 実施日 令和4年12月
- 4 回答数等

生徒	在籍数	回収数	回収率
合計	88	81	92.0%

保護者	総数	回収数	回収率
合計	88	71	80.6%

教職員	回答数	29
-----	-----	----

5 概要

生徒は、質問22項目中15項目において肯定的な意見の割合が増加した。増加率が高い項目は「挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(＋11.8%)」、「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。(＋11.3%)」、「学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(＋10.7%)」となった。肯定的な意見の割合が高いのが「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。」「生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。」「生徒に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。」「資格取得に向けた指導が充実している。」「学習成績の評価について、きまりがよく知らされている。」でどれも93.8%となった。反対に肯定的な意見の割合が低いのは「部活動は活発に行われている(46.9%)」、「校訓を知っている(58.0%)」となった。

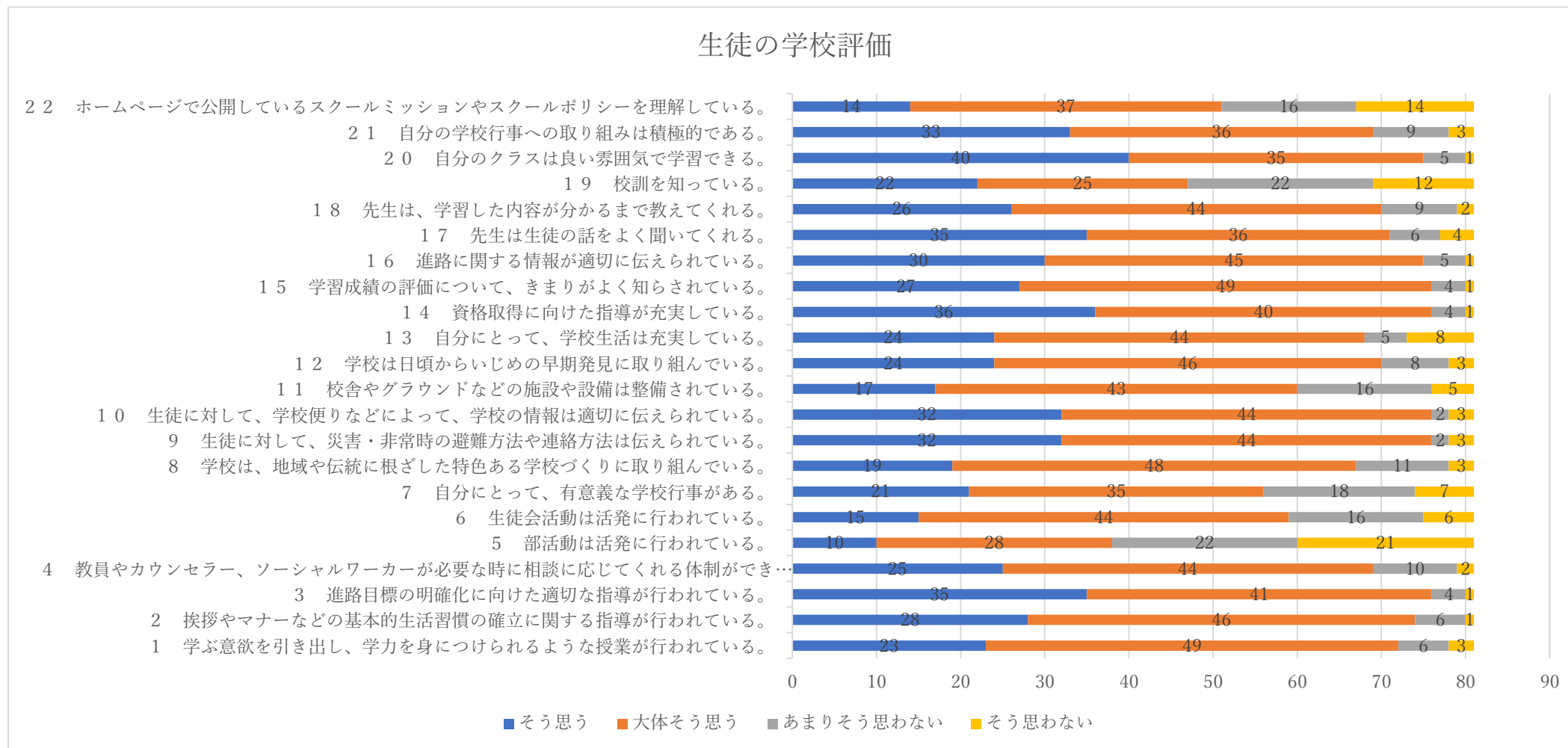
保護者は、質問21項目中11項目において肯定的な意見の割合が増加した。増加率が高い項目は「学校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる(＋10.3%)」、「生徒会活動は活発に行われている。(＋9.2%)」となった。肯定的な意見の割合が高いのが「生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(94.4%)」、「学校生活の様子を子どもと話題にする(94.4%)」となっている。反対に肯定的な意見の割合が低いのは「PTA活動に関心がある(38.6%)」、「部活動は活発に行われている(49.3%)」となった。

教職員は、質問22項目中17項目において肯定的な意見の割合が増加した。増加率が高い項目は「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業をすること。

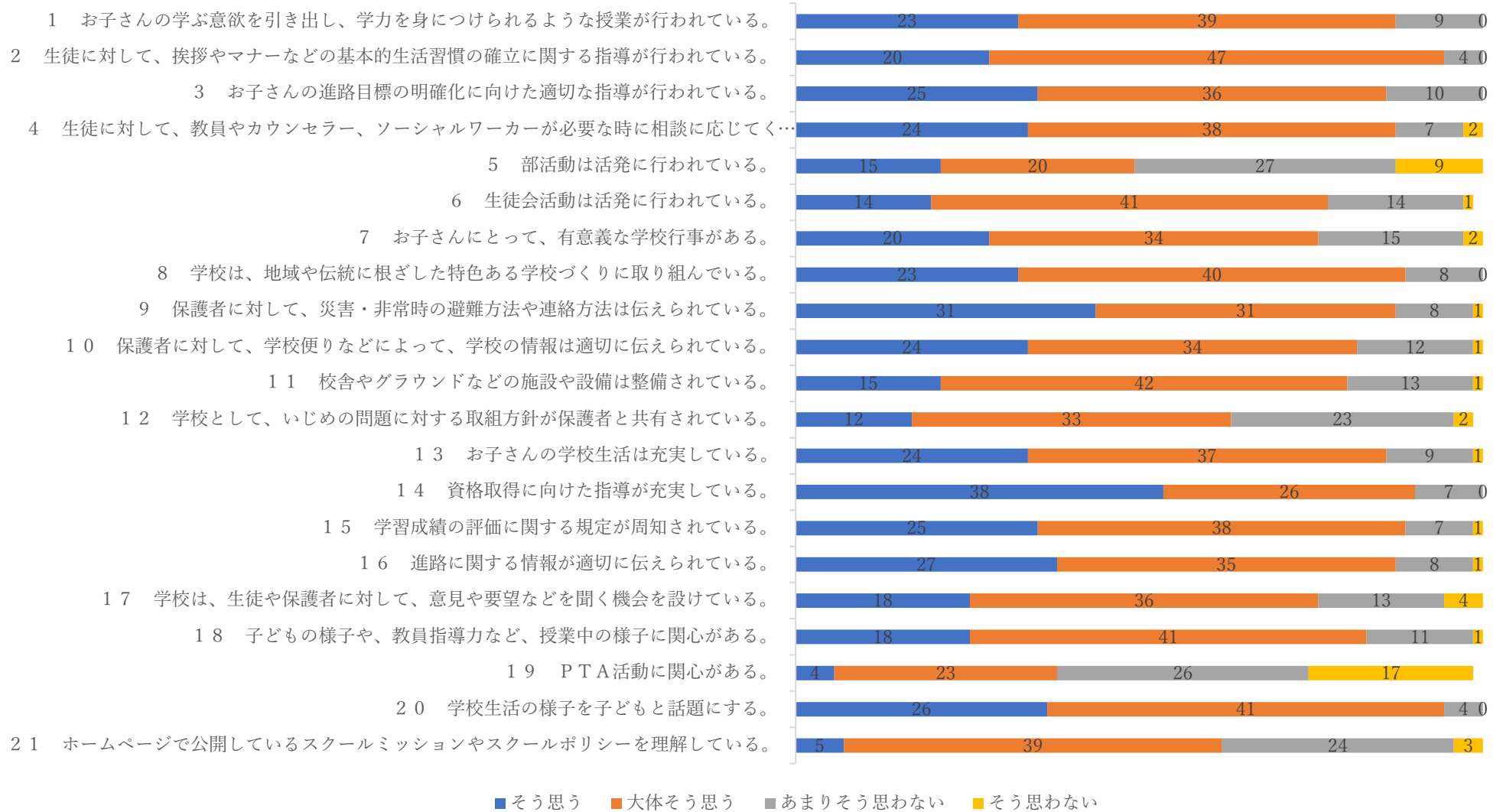
(+24.4%)」、「生徒にとって、充実した学校生活をおくれるようにすること(+18.2%)となった。肯定的な意見の割合が高いのが「学校便りなどによって、学校の情報を適切に伝えていくこと(96.6%)」、「授業開始のチャイムと同時に授業を始めることとなった。

生徒・保護者・教職員の3者を比べると「自分にとって有意義な学校行事がある」の肯定的な意見の割合について、生徒は69.1%、保護者は76.1%であるのに対して、教職員は86.2%と開きが見える。「先生は生徒の話をよく聞いてくれる」の肯定的な意見の割合についても、生徒は87.7%、保護者76.1%であるが、達成度において教職員は93.1%であった。

6 アンケート集計結果グラフ



保護者による評価



教職員による評価

